

各地のTEAMを中心に 低炭素社会づくりをめざします

広島県内の地球温暖化対策地域協議会

この事例集は、広島県内で活動する「地球温暖化対策地域協議会」の活動の様子をまとめたものです。

「地球温暖化対策地域協議会」は、日常生活からの温室効果ガス排出量削減に向けて、地域の各主体が連携・協働し、地域の実情にあった実効性のある温暖化対策に取り組むパートナーシップ型の地域組織です。

脱温暖化センターひろしまでは、通称「TEAM(チーム)」と呼んでいます。



広島県内には、現在23の地球温暖化対策地域協議会が設立されています。
TEAMの構成員は、地球温暖化防止活動推進員や公衆衛生推進協議会、行政、学校、企業、各種団体(女性会、食推など)など、TEAMによってさまざまです。

目次

TEAM連携で取り組む低炭素社会づくり	1	脱温暖化プロジェクトせら	28
TEAMMATEひろしまのグループ活動	2	くい環境会議	30
各TEAMの主な取り組み一覧	4	福山北部脱温暖化地域協議会	32
府中町脱温暖化市民協議会	6	海田町地球温暖化対策地域協議会	34
広島市地球温暖化対策地域協議会	8	門田地球温暖化対策協議会	36
くれ環境市民の会	10	脱温暖化笑コきたひろ	38
マジやるラボ	12	エコネットたけはら	40
脱温暖化ネットおんど	14	かんきょう会議浮城	42
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	16	しのうエコ推進会	44
エコINNくろせ	18	脱温暖化福山中央地域協議会	46
布野の食と脱温暖化を考える会	20	府中市元町地区地球温暖化対策地域協議会	48
町づくり脱温暖化やすうら	22	脱温暖化センターひろしまの取り組み	50
ひがしひろしま環境家族	24	《参考資料》	
倉橋の海とくらしを考える会	26	地球温暖化防止対策地域協議会について	52

TEAM連携で取り組む低炭素社会づくり

各TEAMは、いずれも地域の特性を活かしたユニークな活動を展開しています。

各TEAMの交流・協働の場として、「広島県地球温暖化対策地域協議会連絡会」=通称「TEAM MATE(チームメイト)ひろしま」を設立し、連携事業などに取り組んでいます。

＜学習会活動＞

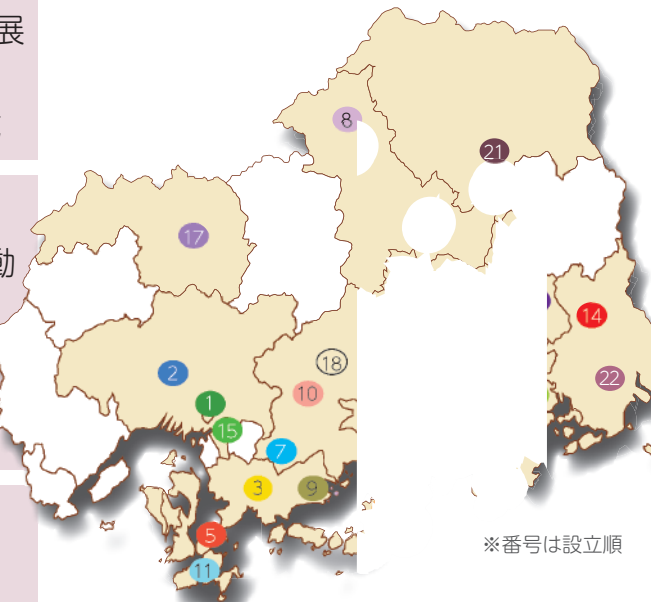
- 環境学習・出前講座
- イベントの開催・出展
- 講演会の開催
- グッズ・教材の作成

＜普及啓発活動＞

- 環境家計簿記帳運動(光熱費節約大作戦!)
- 省エネ相談
- うちエコ診断
- 緑のカーテン

＜広報＞

- 情報誌等の発行



＜実践活動＞

- 地産地消・エコフッキング
- 廃食油の活用
- ごみ減量・生ごみの堆肥化
- 3Rの推進
- マイバッグ・マイ箸の推進
- エコドライブの推進
- 里山里海整備・保全
- 農業体験・エコ農法
- 自然エネルギーの活用
- 食品ロス削減
- 自転車利用促進

関係者との調整
資金管理など

削減効果測定及び
集約等のアドバイス

脱温暖化センターひろしま

事業全体の進行管理・情報収集及び発信・
実践状況及び成果の集約・成果物集の作成に向けた調査など

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ① 府中町脱温暖化市民協議会 | ⑬ くい環境会議 |
| ② 広島市地球温暖化対策地域協議会 | ⑭ 福山北部脱温暖化地域協議会 |
| ③ くれ環境市民の会 | ⑮ 海田町地球温暖化対策地域協議会 |
| ④ マジやるラボ | ⑯ 門田地球温暖化対策協議会 |
| ⑤ 脱温暖化ネットおんど | ⑰ 脱温暖化笑コきたひろ |
| ⑥ 大崎上島けんこう文化の島づくり協議会 | ⑱ エコネットひがしひろしま |
| ⑦ エコINNくろせ | ⑲ エコネットたけはら |
| ⑧ 布野の食と脱温暖化を考える会 | ⑳ かんきょう会議浮城 |
| ⑨ 町づくり脱温暖化やすうら | ㉑ しのうエコ推進会 |
| ⑩ ひがしひろしま環境家族 | ㉒ 脱温暖化福山中央地域協議会 |
| ⑪ 倉橋の海とくらしを考える会 | ㉓ 府中市元町地区地球温暖化対策地域協議会 |
| ⑫ 脱温暖化プロジェクトせら | |

※ ⑱エコネットひがしひろしまは、⑦エコINNくろせと⑩ひがしひろしま環境家族のネットワーク組織のため、単独の活動は行っておりません。



TEAMMATE ひろしまのグループ活動

TEAM MATE ひろしまは、TEAM の活性化とレベルアップをねらいに、構成メンバーがそれぞれ興味のある活動に参加するグループ活動に取り組んでいます。

光熱費節約大作戦！

平成 29 年から、3 カ月間の省エネ活動の成果を電気消費量で確認する「光熱費節約大作戦！」という懸賞事業として、省エネに取り組む住民が増えるよう環境家計簿記帳運動に取り組んでいます。集まった情報は、類型化して集約し、普及啓発活動の資料として活用しています。



機器の買換えと節約行動	
LEDへ交換 炊飯ジャーの保温をやめる 月平均：304kWh(9月～11月) 大崎上島町 / 戸建 / 太陽光 / 3人家族	冷蔵庫の買換え 冷房設定 28度 月平均：113kWh(5月～7月) 府中市 / 戸建 / 都市ガス / 3人家族
機器の買換え	
エコキュートへ買換え 月平均：584kWh(9月～11月) 東京島市 / 戸建 / オール電化 / 4人家族	太陽光発電を設置 月平均：180kWh(7月～9月) 福山市 / 戸建 / 不明 / 2人家族

エコクッキング

平成 25 年から 26 年にかけて、各 TEAM が実践しているエコクッキングの省エネ効果を可能な範囲で計測し「見える化」に取り組みました。平成 30 年から、改めて調理の省エネを見直して普及拡大に取り組むこととし、家庭におけるエコライフの拡大に取り組んでいます。

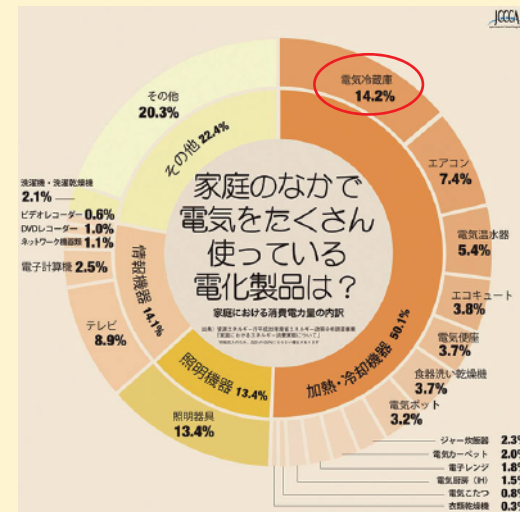
保温調理のいいね！

1. 電気もガスも節約＝CO₂削減
2. ふきこぼれや煮崩れ、焦げつきの心配がない
3. じっくりと味がよくしみ込む
4. ガステーブルが混まない（特に冬場）
5. 火のそばについていなくて良い



冷蔵庫調査

令和元年から、地域における省エネ家電の普及状況を調査し普及活動に活用するため、稼働率が一番高い冷蔵庫に注目し、調査を始めました。調査結果は、市町でまとめ、活動資料として活用します。



出典：「全国地球温暖化防止活動推進センター WEB サイト」より

クン炭拡大プロジェクト

エコ INN くらせが平成 21 年から取り組んでいる「もみ殻クン炭づくり」を県内全域に拡大するため、平成 29 年から活動拠点の拡大とクン炭の普及活動に取り組んでいます。



私たちの思い

急激に極端化する気象。

この気候変動による私たちの暮らしへの影響ははかりしれません。

この状況を改善したい。これからの世代のために、一歩踏み出さねば！取り組まなければ！その思いから、私たちは活動しています。



持続可能な開発目標（SDGs） 世界を変えるための 17 の目標

◇2015 年 9 月、ニューヨーク国連本部で、193 の加盟国の全会一致で採択された 2030 年までに達成を目指す 17 の国際目標です。

◇気候変動や格差などの幅広い課題の解決を目指しています。

◇先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく目標です。



・人口増加、経済活動に伴う水需要の増加、気候変動による利用可能な水資源の変化などにより、深刻な水不足が起きています。
・温室効果ガスの増加により温暖化が進み、海面上昇が大きな影響を与えています。蚊が媒介する感染症の拡大も懸念されています。



各TEAMの主な取り組み一覧

TEAM MATE ひろしま TEAM名	学習会活動				普及啓	発活動			実践活動											広報
	環境学習・出前講座	イベントの開催・出展	講演会の開催	グッズ・教材の作成	環境家計簿記帳運動 (光熱費節約大作戦!)	省エネ相談	うちエコ診断	緑のカーテン	地産地消・エコクッキング	廃食油の活用	ごみ減量・生ごみの堆肥化	3Rの推進	マイバッグ・マイ箸の推進	エコドライブの推進	里山里海整備・保全	農業体験・エコ農法 (タン炭プロジェクト)	自然エネルギーの活用	食品ロス削減	自転車利用促進	情報誌等の発行
府中町脱温暖化市民協議会	●	●		●	●		●	●	●											
広島市地球温暖化対策地域協議会	●	●	●	●	●	●													●	●
くれ環境市民の会	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●		●
マジやるラボ (エコフォーラムわだ!)	●									●			●		●	●	●			
脱温暖化ネットおんど	●	●	●		●				●	●	●	●	●		●	●				
大崎上島けんこう文化の島づくり協議会	●	●	●		●	●	●		●			●	●	●						●
エコINNくろせ	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●	●	●		●		●	●	●
布野の食と脱温暖化を考える会	●	●	●					●	●	●			●	●			●			●
町づくり脱温暖化やすうら	●	●			●							●			●					
ひがしひろしま環境家族	●	●	●					●	●								●			
倉橋の海とくらしを考える会	●							●	●	●					●					
脱温暖化プロジェクトせら	●	●	●				●	●	●		●				●	●	●			
くい環境会議	●	●	●				●		●		●				●	●				
福山北部脱温暖化地域協議会	●				●		●	●	●			●	●							
海田町地球温暖化対策地域協議会	●	●	●	●	●		●	●	●			●								●
門田地球温暖化対策協議会	●	●		●	●	●	●	●	●		●		●	●	●					
脱温暖化笑コきたひろ	●	●		●	●				●											●
エコネットたけはら	●				●			●						●						
かんきょう会議浮城	●	●		●	●		●	●	●		●				●					
しのうエコ推進会		●			●			●		●		●			●					
脱温暖化福山中央地域協議会	●		●	●	●		●	●	●	●		●	●					●		
府中市元町地区地球温暖化対策地域協議会	●			●			●	●						●						●

※「エコネットひがしひろしま」は、「エコINNくろせ」と「ひがしひろしま環境家族」のネットワーク組織のため、単独の活動は行っておりません。

府中町脱温暖化市民協議会

(緑の仲間づくりプロジェクト)

平成 14 年 9 月 12 日に設立。

個人・団体・事業者・行政が協働し、人にも環境にもやさしい町づくりの広がりをめざして、さまざまな活動を展開しています。

■会員数 個人：12 人、団体数：2 団体

事務局連絡先

◇住所 〒735-8686
安芸郡府中町大通 3-5-1
府中町役場町民生活部環境課環境保全係内
◇TEL 082-286-3244
◇FAX 082-284-7111
◇メール kankyoka@town.fuchu.hiroshima.jp

活動のあゆみ

- 平成 19 年度 地域環境通貨「エコマネー」の発行・管理・運営【～平成 25 年度】
イベント「緑の仲間フェスタ」の開催【～継続】
環境学習出前講座【～継続】
- 平成 20 年度 町の街路樹の CO₂吸収量調査
アイドリングストップ運動の実施
レジ袋削減（マイバッグ持参）運動
- 平成 21 年度 環境家計簿推進運動【～継続】
家庭でできる生ごみ削減運動【～平成 22 年度】
- 平成 23 年度 幸せのイエローレシートキャンペーン【～継続】
- 平成 24 年度 緑のカーテンコンテスト【～継続】
緑のカーテン講習会の開催
- 平成 26 年度 緑のカーテン講習会の開催



みなさまへ

ふるさと ちきゅうが
ゆたかに うるおう、
まちづくり

一人ひとりが、エネルギーの無駄を省くことの大切さに気づき、無駄を減らすことを継続できるよう支援し、緑の地球を守る仲間づくりを行っています。



主な活動

イベント「緑の仲間フェスタ」開催

見て・聞いて・体験できる脱温暖化イベント。平成 19 年度から毎年実施している。平成 30 年度は、エコクイズラリーや体験コーナー、企業やボランティア団体による出展で地球温暖化防止の啓発を行った。



環境学習出前講座

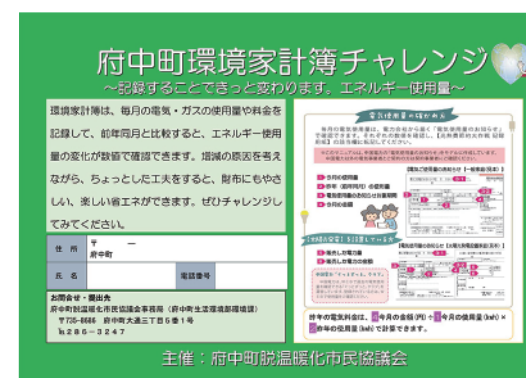
府中町内の小学校や地域住民、各種団体を対象にオリジナルの教材を活用し、「脱温暖化」や「省エネ」をテーマとした学習会を実施。

令和元年度は、エコクッキングを各種団体を対象に 1 回、小学生を対象に 3 回、広報ふちゅうの公募で 1 回実施。



環境家計簿推進運動

平成 21 年度から継続して実施しておりエネルギー使用量や料金を記録して省エネに役立ててもらっている。



緑のカーテンコンテスト

夏の省エネルギーを図るため緑のカーテン普及を目指し、町民・事業所を対象に平成 24 年度から継続して実施。



幸せのイエローレシートキャンペーン

イオンモール広島府中（イオンスタイル）における地域ボランティア団体の登録をし「イオン・デー」（毎月 11 日開催）に投函ボックスへレシートを入れてもらい、その金額の一部を助成してもらっている。

今後の展望など

「地球温暖化」「食」「緑」「3R」のオリジナル教材を作成し、町内の小学校で地球温暖化学習を推進していきます。

広島市地球温暖化対策地域協議会

平成 15 年 10 月 28 日に設立。
地球温暖化防止活動を行う市民・事業者・
環境 NPO・行政が連携しながら活動してい
ます。

メンバー自らが地球温暖化防止活動に積極
的に取り組むとともに、市民や事業者の自主
的な取り組みを促す活動を行っています。

■会員数 個人：68 人、団体数：14 団体

事務局連絡先

◇住所 〒730-8586
広島市中区国泰寺町一丁目 6 番 34 号
広島市環境局温暖化対策課内
◇TEL 082-504-2185
◇FAX 082-504-2229
◇メール ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp
◇HP
「広島市地球温暖化対策地域協議会」で検索

活動のあゆみ

- 平成 15 年度 エコ川柳事業【～平成 27 年度】
- 平成 16 年度 ひろしま温暖化ドクター事業【～平成 25 年度】
イベント「ひろしま温暖化ストップ！フェア」【～継続】
- 平成 20 年度 環境学習支援事業【～継続】
省エネ電球キャンペーンの実施【～平成 22 年度】
- 平成 21 年度 草の根省エネ診断事業【～継続】
事業所の省エネ診断【～平成 26 年度】
- 平成 22 年度 eco チャリワーキング【～継続】
情報誌による情報発信事業【～継続】
- 平成 24 年度 緑のカーテン普及事業【～平成 25 年度】



みなさまへ

「低炭素社会の実現」のため
には、今までの快適な生活を制
約されるように受け止められが
ちですが、今の自分たちの生活
環境を振り返り、快適さを維持
しつつ、持続可能な社会の実現
に向けてどんなことができるか
一緒に学びませんか。

主な活動

草の根省エネ相談事業

イベントや講座開催時の来場者を対象に
「草の根省エネ相談」を行い、各家庭に適
した省エネの取り組みを提案する。

《診断実績》

平成 27 年度：イベント回数 7 回 142 人
平成 28 年度：イベント回数 7 回 141 人
平成 29 年度：イベント回数 7 回 145 人
平成 30 年度：イベント回数 4 回 77 人



eco チャリワーキング

自動車から自転車への転換を促し、
CO₂排出量の削減につなげる。

《実績》

平成 27～29 年度：フィールドワーク
及びエコチャリクイズの実施
平成 30 年度：エコチャリクイズの実施



情報誌による情報発信

市民への温暖化防止に関する情報提供
及び会員間の情報共有を図るため、情報
誌「I Love 地球」を年 4 回発行している。

「ひろしま温暖化ストップ！フェア」

地球温暖化の現状、各種取組や省エネ
行動に関する情報提供など、地球温暖化
防止に向けた普及啓発を行い、環境への
負荷の少ないライフスタイルへの転換や
企業行動を促進する。



環境学習支援事業

主に高校生を対象に温暖化対策に向けたセ
ミナーなどを開催したり、公民館や小学校等
での出前講座・授業を実施する。



今後の展望など

広島市が 2017 年に策定した「広島市地
球温暖化対策実行計画」をもとに「人が生
き生きと暮らし、活力にあふれる強靱で持
続可能な低炭素都市「ひろしま」」を達成す
るために、省エネに関する情報発信を様々
な事業から行っていくことが当協議会の目
的と考え、今後も市民、事業者、行政と一
緒になって、取り組んでいきます。

くれ環境市民の会

平成 15 年 11 月 4 日に設立。

市民・事業者・行政がともに考え行動し、環境に調和した人と地球にやさしい“わがまち呉”の実践をめざすパートナーシップ組織です。「生活環境」「環境学習」「自然環境」「資源・エネルギー」の4つの部会を設け、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。

■会員数 個人：100 人、団体数：46 団体

事務局連絡先

◇住所 〒737-8501
呉市中央4丁目1-6 呉市環境政策課内
◇TEL 0823-25-3304
◇FAX 0823-32-1621
◇メール kansei@city.kure.lg.jp
◇HP・Facebook
「くれ環境市民の会」で検索
<https://ja-jp.facebook.com/kurekankyoshimin/>

活動のあゆみ

- 平成 15 年度 「くれエコフェスタ」の開催【～継続】
自然観察会【～継続】
ニュースレターによる情報発信【～継続】
イベントごみダイエツ事業【～20 年度】
環境紙芝居啓発【～18 年度、29 年度】
レジ袋ダイエツ事業（マイバツ持参運動チームオーバー50%）【～21 年度】
- 平成 16 年度 環境を考える講演会【～継続】
エコクツキング【～継続】
生ごみダイエツ事業【～継続】
クリーン清掃活動【～18 年度】
植樹、樹名板設置活動【～19 年度】
くれ環境市民大学セミナー【～22 年度】
出前環境講座、環境学習【～継続】
環境学習プログラム作成【～継続】
環境パネル展啓発展示【～18 年度、28 年度～継続】
キャンドルナイト【18～20 年度、23～25 年度】
- 平成 18 年度 CO₂CO₂染々脱温暖化トライアル【～22 年度】
インターネットによる情報発信【～継続】
くれ環境市民の会 テーマソング CD 製作
- 平成 19 年度 LED 電球推進事業
市民版排出量取引 GETS みんなエコキツ事業
- 平成 20 年度 エコドライブ啓発事業エコ1グランプリ【～21 年度】
カーボンオフセットの推進【～継続】
緑のカーテンコンテスト【～継続】
省エネ相談の実施【～継続】
エコ屋台啓発【～継続】
節電おでん啓発【～継続】
- 平成 25 年度 「クールシェア・ウォームシェア」講座【～継続】
リサイクル事業くるくる@サロン【～26 年度】
エコツアー【～28 年度】
うちエコ診断の実施【～継続】
- 平成 26 年度 IPCC 地球温暖化啓発活動【～継続】
- 平成 27 年度 1 粒の大豆から味噌づくり【～継続】
- 平成 29 年度 光熱費節約大作戦【～継続】
『レッドデータブックくれ』発行
- 令和元年度 「食品ロス削減ワーキンググループ」【～継続】
フードドライブの推進【～継続】

主な活動

「くれエコフェスタ」

企業・団体・学校等が連携し、毎年秋に開催する体験型環境イベント。工作教室やクイズラリー、環境保全活動のパネル展示等を行い、参加者の自主的なエコライフの実践を促進。



出前環境講座

市内の小中学校などで「資源の分別」や「3R」、「エコクツキング」、「ネイチャーゲーム」などをテーマに実施。省エネや環境にやさしい調理法などを実践しながら学んでもらう。



「クールシェア・ウォームシェア」講座

各家庭のエネルギー消費を低減する温暖化防止運動の一環として、酷暑・酷暑時に公民館等集まり、資源やエネルギーに関する体験講座等を開催。



生ごみダイエツ事業

生ごみ堆肥で環境保全型野菜栽培に取り組む「ゆうきの里」に隣接して、無農薬で赤米や黒米などを栽培。体験教室を通じて環境保全型農業のPRに努めている。



『レッドデータブックくれ』

呉市内の絶滅のおそれのある野生動植物等を解説した『レッドデータブックくれ』を発刊。それぞれの種類毎に、写真を掲載し、概要、生息状況、衰亡の要因やその対策等を解説。

自然観察会

- ☆どんぐり塾
自然観察や草刈り等の体験を通じて、環境問題や森林に関する知識を習得
- ☆黒瀬川観察会
水質検査や野鳥観察会を実施
- ☆灰ヶ峰自然観察会
鳥類生息調査や植物調査を実施

みなさまへ

くれ環境市民の会は、呉に住む人だけでなく、市外に住み、呉で働く人も「市民」と考えています。
ぜひ、くれ環境市民の会に入会し、呉の環境を良くしていきましょう。

今後の展望など

灰ヶ峰や野呂山の山々、倉橋島や安芸灘の島々など、四季折々の豊かな自然環境に恵まれた呉市を次世代に引き継いでいくため、くれエコフェスタを活動PRの場として最大限活用し、多様な参加者と協働しながら省エネなどの温暖化防止活動や自然観察会などの活動を展開していきます。

マジやるラボ

平成 16 年 12 月に『エコフォーラムわだ』を設立。
以来 14 年、環境とエネルギーについて取り組んでまいりました。元号が令和となり新たに私たちは、和田地区公衆衛生推進協議会を母体として、持続可能な里山づくり『マジやるラボ』を開設、地域生活や学校生活と里山の環境について、地球温暖化防止活動の推進を中心に地域住民や子どもたちと、環境関係 NPO、事業者、大学、行政とともに学べる機会と企画を提供実践していきます。

■会員数 個人：1,607 人／650 世帯
団体数：10 団体

事務局連絡先

◇住所 〒729-6202
三次市向江田町 3358-1
和田コミュニティセンター内
◇TEL 0824-66-1050
◇FAX 0824-66-1050
◇メール takeda1030@outlook.jp
◇HP・Facebook
むかし暮らし「でんえん」
※Facebook で友だちリクエストを承認
されるか、メッセージを頂くと、休日
の連絡が可能になります。

活動のあゆみ

- 平成 16 年度 地域住民対象での環境学習
(自然エネルギーの活用や資源循環型のまちづくりなど)【～継続】
- 平成 17 年度 小学校での環境学習【～継続】
里山保全と食育体験活動【～継続】
- 平成 18 年度 ごみの減量とマイバッグキャンペーンの実施【～継続】
間伐材で作ったペレットを燃料とする
ペレットストーブの普及活動【～平成 25 年度】
- 平成 19 年度 廃食油を回収し、BDF に精製して農機具への利用と普及活動【～平成 26 年度】
- 平成 22 年度 地中熱を利用した冷暖房システムを農業ハウスに応用【～平成 26 年度】
小学校へ雨水タンク設置をし、花壇や運動場の散水に活用【～継続】
- 平成 27 年度 てんぷら油を回収しディーゼルエンジン(ごみ収集車)の燃料に精製再利用【～継続】
- 平成 29 年度 竹林間伐材を竹炭に製造し土壌改良や水質改良等に有効利用【～継続】
地球温暖化防止活動(荒廃田の再利用、植樹、クン炭づくり)【～継続】

みなさまへ

私たち持続可能な里山づくり『マジやるラボ』では、命を大切にし・暮らしを楽しく・人を大切にし、育て・平和をこよなく愛し(イノ・クラ・ジン・ペイ)を合言葉に里山づくりを楽しみ励んでいます。場所は、中国自動車道三次東インターから降りて、庄原方面に広がる里です。高速和知バス停の直ぐそばで(駐車場有)いつも活動しています。JR 芸備線下和知駅で下車すると和田のど真ん中、ウォーキングやトレッキングの楽しめる里山です。

是非、遊びにいらしてください。

主な活動

環境学習



地球温暖化防止活動



てんぷら油の回収



LED 切り替え推進

コミュニティセンターの照明を LED に計画的に変更し、電源を太陽光発電に切り替えた(非常時にも電力供給可能)。



今後の展望など



脱温暖化ネットおんど

平成 17 年 2 月 5 日に設立。
地球温暖化の基本的な原因は、私達の日常活動に起因しています。「脱温暖化ネットおんど」は、このことを広く地域住民に認識してもらい、地域の実情にあった実効性のある対策を地域ぐるみで取り組むための住民・環境 NPO・事業者・行政などが連帯した組織として活動しています。

■会員数 個人：4,801 世帯、団体数：8 団体

事務局連絡先

◇住所 〒737-1205
呉市音戸町南隠渡 1 丁目 7 番 1 号
音戸市民センター内
◇TEL 0823-52-1111
◇FAX 0823-51-3123
◇メール hara4917@yahoo.co.jp
◇事務局長
広島県地球温暖化防止活動推進員 原泰治

活動のあゆみ

- 平成 12 年度 河川及び海岸線を含む清掃作業の支援【～継続】
- 平成 17 年度 イベント及び環境学習会の開催【～継続】
瀬戸内海環境保全スクールキャラバン隊【～継続】
毎年 6 月の第一日曜日に町内河川側溝清掃奉仕作業【～継続】
夏の一齐打ち水運動（7～9 月の第 2 日曜日の夕方）【～継続】
冬の湯タンポ活用事業（12～2 月）【～継続】
竹炭の製炭事業【～継続】
アルミ缶回収事業～空缶・金物回収事業へ【～継続】
- 平成 18 年度 2 月 18 日第 1 回おんど環境フォーラム
- 平成 20 年度 5 月 25 日平和と環境の集い
- 平成 21 年度 アマモの移植再生事業【～継続】
3M(マイ箸・マイカップ・マイバッグ)持参運動【～継続】
- 平成 22 年度 使用済み天ぷら油の回収リサイクル(BDF 化)【～継続】
エコなお好み焼き(オカラ入り)レシピ(コンクール優勝)
- 平成 23 年度 音戸の瀬戸公園周辺緑化整備事業【～継続】
- 平成 26 年度 使用済み天ぷら油の回収リサイクル(飼料化)【～継続】
- 平成 30 年度 被災廃棄物リサイクル事業【～継続】
- 令和元年度 廃棄カキ筏粉碎チップ活用事業【～継続】

みなさまへ

地球温暖化による気象変動がもたらすあらゆる状況に対応すべく学習し、力をつけ、情報を共有し、みんなで活動していきましょう。

主な活動

夏の一齐打ち水運動

7～9 月の第 2 日曜日の夕方に電気冷房器具を止めて打ち水をする事で省エネ効果を得る取り組みをしている。

冬の湯タンポ活用事業

12～2 月に湯たんぽを活用し、電気暖房器具を止めて省エネ効果を得るよう広く地域住民に呼びかけている。

イベント及び環境学習会の開催

- ①ひろしまクールシェア@音戸
7 月から音戸観光文化会館で、毎月第 2 木曜日のうたごえ喫茶とのコラボと COOL SHARE コンサートを開催。開催会場では、「光熱費節約大作戦」と「一万人のエコチェック事業」への参加を呼びかけ、資料と参加はがきの配布をおこない、自宅での使用電力節約を心掛けるよう呼びかけた。
- ②瀬戸内海環境保全スクールキャラバン隊
夏休み期間中の 7 月 31 日に瀬戸内海環境保全スクールキャラバン隊を開催し、干潟の清掃と水生生物の観察会を実施している。



河川及び海岸線を含む清掃作業の支援

毎年、6 月の第一日曜日に町内の河川側溝等の清掃奉仕作業を実施している。

廃棄カキ筏粉碎チップ活用事業

廃棄カキ筏の竹をチップ化したものを植樹した樹木の根もとに散布し、除草と堆肥の効果を実証試験中。



被災廃棄物リサイクル事業

2019 西日本豪雨災害で回収した廃棄物の中から、日用品や家電製品等を分解・分別し、再資源化をしている。



音戸の瀬戸公園周辺緑化整備事業

音戸の瀬戸公園の除草・清掃と植樹した樹木の枝打ち伐採・施肥を行った。

今後の展望など

地域の特性を生かした、みんなが楽しく活動できる効率のいい新しい企画を考え実践していきます。

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会

平成 17 年 11 月 27 日に設立。

合併に伴い新たに誕生した大崎上島町公衆衛生推進協議会がめざしたのが「けんこう文化の島づくり」。その実現に向け、脱温暖化プロジェクトを結成。やがて公衛協を中心に各種団体と連携した地域協議会として、脱温暖化の島づくりをめざして活動しています。

■会員数 個人：30 人

事務局連絡先

◇住所 〒725-0301
広島県豊田郡大崎上島町木江 4968
大崎上島町役場保健衛生課内
◇TEL 0846-62-0303
◇FAX 0846-62-0303
◇メール
kankyo01@town.osakikamijima.lg.jp

活動のあゆみ

- 平成 17 年度 アイドリングストップ運動（港の駐車場にて実施）【～継続】
環境学習会の開催【～継続】
町広報での情報発信【～継続】
- 平成 18 年度 町内のイベント等での脱温暖化啓発活動【～継続】
マイバッグ持参運動【～平成 21 年度】
環境紙芝居出前講座【～継続】
- 平成 19 年度 各地区の総会や小・中学校での出前講座【～平成 20 年度】
- 平成 22 年度 省エネ診断【～継続】
アイドリングストップ運動（スーパーの駐車場にて実施）【～継続】
アイドリングストップ抜き打ち調査【～平成 29 年度】
年間環境家計簿啓発活動【～継続】
- 平成 23 年度 活動内容などをまとめたチラシを町内全戸に配布【～継続】
- 平成 24 年度 アイドリングストップ運動（東野小学生在が参加して実施）【～継続】
- 平成 26 年度 アイドリングストップ運動（スーパーの駐車場にて実施）【～継続】
- 平成 27 年度 10 周年記念講演会（対象者は小・中・高校生）（テーマ：脱温暖化）
環境大臣賞受賞（対策活動実践・普及部門）；地球温暖化防止活動
他市町との交流（世羅町）
老人会サロンへ環境紙芝居出前講座
公衛協作成の「アイドリングストップ物語の紙芝居」【～継続】
小学校へ IPCC についての出前講座
クールチョイス啓発活動【～継続】
- 平成 28 年度 うちエコ診断【～継続】
- 平成 29 年度 資源有効活用フリーマーケット【～継続】
散乱ごみキャンペーン
- 令和元年度 スーパー駐車場のアイドリングストップ運動で買い物客にアンケート

みなさまへ

1 人 1 人が温暖化に関心を持って未来の子どもたちが
不安なく暮らせるよう環境に意識を持って日々の暮らしに
努力して欲しい。

主な活動

環境学習会の開催

毎年 6 月に幼稚園や保育所において、環境紙芝居を上演して環境について啓発。平成 30 年度は、幼稚園 4 力所（大崎幼稚園、ルンビニ幼稚園、認定ひかり園、木江幼稚園）で開催。



スーパー駐車場での アイドリングストップ運動

スーパーの駐車場において、買い物客にアイドリングストップを呼びかける。平成 30 年度は 4 回実施。

令和元年から、自動車とバイクで来られた人を対象にアンケートを依頼し、ガソリンの節約からアイドリング・ストップの効果を啓発した。

フェリー駐車場での アイドリング・ストップ運動

港の駐車場において、乗客にアイドリングストップを呼びかける。

平成 30 年度は 2 港で 8 便、8 回実施。

協力台数：432 台

時 間：7：30～9：35

CO₂：約 217kg 削減

ガソリン：約 92ℓ 節約



イベント出展 省エネ相談

来場者を対象に家庭でどの程度エコライフに取り組んでいるのかを診断し、診断結果を元に、効果的な省エネの技をアドバイス。

平成 30 年度

商船祭（保護者を主に対象）：147 人

大崎上島町産業文化祭：90 人



年間環境家計簿運動

50 人の協力者に「CO₂CO₂（コツコツ）頑張ったで賞を授与し、引き続き家庭での省エネ実践を呼びかける。

資源有効活用フリーマーケット

沖浦マルシェで実施、売上金は社会福祉協議会へ寄付して、地域の活動に活用している。



クールチョイス啓発

イベントの際は常に実施。

今後の展望など

今までの実践活動を継続しながらさらに新しいメニューがないか委員たちと話し合いながら地球温暖化防止に努めたいと思う。マンネリにならないように努めたい。若い新しい委員が加わるよう考えていきたい。

エコ INN くろせ

平成 18 年 3 月 22 日に設立。

自分たちにできる身近な脱温暖化行動を地域ぐるみで推進し、環境にやさしい町づくりを進めています。

エコ INN くろせの「INN」は「宿」を意味し、環境にやさしい活動や思いが黒瀬町に宿するようにと名付けました。

■会員数 個人：82 人

事務局連絡先

◇住所 〒739-2622

東広島市黒瀬町乃美尾 573

小原義昭 方

◇メール ekoinnkurose@gmail.com

活動のあゆみ

- 平成 18 年度 農業体験学習【～継続】
エコクッキング講座【～継続】
黒瀬町健康福祉まつりへの出展【～継続】
自転車キャラバン隊 CO₂削減キャンペーン【～継続】
エコ INN くろせ定期講演会【～継続】
- 平成 19 年度 保光川ハウマッチ（ミニ講演・魚とり）【～継続】
東広島市生涯学習フェスティバルへの出展【～継続】
- 平成 21 年度 もみ殻クン炭づくり【～継続】
- 平成 23 年度 竹炭づくり・竹炭アートづくり【～継続】
- 平成 26 年度 エコキャップ・プルタブ回収運動【～継続】
エコ活動を P R をする「エコ INN くろせ」だよりの作成配布【～継続】



みなさまへ

環境問題に関心を持って頂き、どんな事からでも良いので、一緒に行動しましょう。

主な活動

環境学習・出前講座

地元の小学生を対象に、田植え体験、エコクッキング、稲刈り体験、用水路見学、餅つき体験など農業体験を交えた環境学習を実施。

黒瀬高校では、エコクッキングを実施。



竹炭づくり・竹炭アートづくり

地域サロン・健康福祉まつりでの竹炭アート作り

もみ殻クン炭づくり

クン炭機の貸出、クン炭づくり、販売にチャレンジ



イベント会場出展で活動 P R

- ・東広島市生涯学習フェスティバル
- ・黒瀬町健康福祉まつり

エコ INN くろせ定期講演会 （年 2 回春・秋）

黒瀬生涯学習センターにて開催。
ただし、2019 年は、春 3/31 実施のみで、秋 10/19 は中止した。

今後の展望など

- 小学生を中心とした環境学習（学年ごとのテーマ）の継続
- もみ殻クン炭づくりの県内各地区への展開
- エコ INN くろせ定期講演会【2 回 / 年】の継続（講演内容の選別）
- 令和元年度テーマ「食品ロス削減活動」の実施展開

布野の食と脱温暖化を考える会

平成 18 年 9 月 23 日に設立

食を入口に地球温暖化の防止を考え、市民・事業者・団体・行政などが協働して、そのために必要な活動を推進しています。

■会員数 個人：76 人、団体 5 団体

事務局連絡先

◇住所 〒728-0201
三次市布野町上布野 1196-1
布野町まちづくり連合会内
◇TEL 0824-54-2222
◇FAX 0824-54-2222

活動のあゆみ

- 平成 18 年度 幼児・児童を対象にした環境学習会【～継続】
「布野ふるさとまつり」での啓発活動【～継続】
“食”をテーマとした講演会の開催【～継続】
地場産物の推奨【～継続】
アイドリングストップ運動【～継続】
マイ箸・マイ箸袋活用の推進と販売【～継続】
- 平成 20 年度 廃油回収と利用促進【～継続】
- 平成 21 年度 廃油を使ったローソクやせっけんづくり【～継続】
- 平成 22 年度 みどりのカーテン普及事業【～継続】
- 平成 25 年度 イベント「おいで～やあ横谷の大自然の中へ」での啓発活動【～継続】



みなさまへ

先人たちが言い伝えてきた「もったいない」。エコの一步です。
この精神を次世代に広め伝えていく責務があるように思います。

主な活動

幼児・児童を対象にした環境学習

子どもたちを対象に、どんぐりの実生から植樹まで、大豆栽培から豆腐づくり、川の生物調査、水力発電所見学などのさまざまな体験型学習を実施。



地場産物の推奨

二酸化炭素の削減につながる「地産地消」運動の企画と実践。

啓発実践活動

- ・グリーンカーテン
- ・廃油せっけんづくりなど



イベント会場出展で活動PR

地域イベント「おいで～や横谷大自然の中へ」「布野ふるさとまつり」などで啓発パネル展示、ごみ袋配布。

情報発信と収集

地球温暖化防止に関する研修会の開催。
会の活動状況・活動予定を掲載した「通信」の発行。

今後の展望など

「会員一人ひとりが気づき行動することによって、地域での啓発と活動を広げていく」ことをテーマとする。

町づくり脱温暖化やすうら

平成 19 年 5 月 11 日に設立。

「家庭の生ごみ減量」を入口に暮らしの中で発生する温室効果ガスの削減を旨とした活動を推進しています。次世代を担う子どもたちと一緒に環境学習や脱温暖化実践活動に取り組み、五感を使って地域の環境変化を体感しながら、温暖化防止活動を推進しています。

■会員数 個人：10 人、団体数：7 団体

事務局連絡先

◇住所 〒737-2516
呉市安浦中央 4-3-2
呉市役所安浦市民センター地域協働スペース
◇TEL 0823-84-2261
◇FAX 0823-84-6684

活動のあゆみ

- 平成 19 年度 水辺教室【～平成 29 年度】
みちクリーン活動【～継続】
生ごみ減量と堆肥化運動【～継続】
川の水質浄化活動【～継続】
休耕田活用事業
野呂川の清掃活動
- 平成 20 年度 水産教室【～継続】
マイバッグキャンペーン【～平成 22 年度】
知産知食エコクッキング教室【～継続】
- 平成 22 年度 1 万人のエコチェック事業【～継続】
- 平成 23 年度 グリーンカーテン普及活動【～平成 27 年度】
野呂川自然学校【～平成 29 年度】
- 平成 26 年度 省エネ研修会【～継続】
- 平成 27 年度 太陽光利用学習【～継続】
気候変動啓発活動【～継続】

みなさまへ

平成 30 年 7 月西日本豪雨被災に対し、ご支援いただき感謝申し上げます。毎年のように起こる豪雨災害は気候変動によるものと考え、温暖化防止活動が大切です。防災研修等を通じて自然環境の変化にも敏感になりましょう。

主な活動

環境学習

- ・ホタルの学習（環境協協力）小学校 年 1 回実施
- ・水辺教室（平成 30 年度からは、豪雨被災により河川工事のため中止）
- ・水産教室（三津口湾船上観察会、小学校 2 校で 9 月に 2 日間実施）
- ・野呂川自然学校（平成 29 年度まで夏休み中 8 月末に年 1 回実施。平成 30 年度、地区が豪雨被災のため中止し、その後復旧見通しが立っていない）
- ・みちクリーン活動（町内の小学校、中学校合同実施、11 月に通学路不法投棄ごみ回収）



太陽光利用学習

太陽光を使った模型の車、手回し発電機を利用し、小学校で年 1 回 7 月に実施。



気候変動の学習

市民センターロビーに啓発パネルを常時掲示。公衛協全体会で年 1 回発表し、環境協主催の電気使用量調査を活用し報告（平成 30 年度は西日本豪雨被災のため中止）。



紙芝居

安浦の民話「火を消した小鳥たち」を町内の保育園、幼稚園、小学校にて上演。

エコバッグ製作教室

古着をリサイクルして製作し、平成 28 年度、29 年度に年 2 回実施。

今後の展望など

平成 30 年 7 月西日本豪雨被災地となり、今まで 10 年間続けていた環境美化浄化、観察会がやむを得ず中止となり、復旧・復興活動の中で私たちの会が続けていくもの、新しくチャレンジしていくものを再構築し、地域の子どもたちと一緒に温暖化防止活動に取り組んでいきます。

私の一歩、みんなの一歩を合言葉に温暖化防止活動を推進していきます。

ひがしひろしま環境家族

平成 19 年 5 月 24 日に設立。

ひがしひろしま環境家族は、日常生活における温室効果ガスの削減を目指し、親と子を中心に家庭での温暖化の抑制・防止する生活の推進を目的に誕生しました。

「子や孫の世代に持続可能な地球環境を残そう！」を目標に活動しています。

■会員数 個人：15 人

事務局連絡先

◇住所 〒739-8601
東広島市西条栄町 8 番 29 号
東広島市環境対策課内
◇TEL 082-420-0406
◇メール
higashihiroshima5@gmail.com

活動のあゆみ

- 平成 19 年度 市民版排出量取引事業 ・環境家計簿の普及【～継続】
出前講座【～継続】 ・市民を対象とした環境講演会
イベントでの啓発活動【～継続】
- 平成 21 年度 LOHAS セミナーの開催【～継続】
- 平成 22 年度 「エコネットひがしひろしま」の運営へ参画【～継続】
- 平成 23 年度 耕作放棄地での野菜栽培【～継続】
- 平成 24 年度 緑のカーテン講習会【～継続】
- 平成 26 年度 親子で環境学習「手作りお菓子づくり」【～継続】
- 平成 27 年度 LOHAS セミナー「元気な体で温暖化防止」「おかたづけセミナー」
「味噌玉づくり」
広島県省エネ促進活動補助金事業「ウッドガストーブを作ろう」
- 平成 28 年度 LOHAS セミナー「ハーブソルトづくり」「食べて健康セミナー」
広島県省エネ促進活動補助金事業「電力自由化と再生可能エネルギー」
「ロケットストーブを作ろう」
- 平成 29 年度 LOHAS セミナー「優しい食べ方、暮らし方」「ゴミの出し方講座」
広島県省エネ促進活動補助金事業「ロケットストーブを作ろう」
- 平成 30 年度 LOHAS セミナー「藻塩づくり体験」「染物体験」
「『人生フルーツ』映画上映会」
- 令和元年度 エシカルラボ「エコラップづくり講座」

みなさまへ

会員が楽しく活動することをモットーに、興味のあることや、話題のエコ情報、気候変動に対する動きなどを学ぶために活動しています。また市民に広く知ってもらうために講座を開催しています。

主な活動

LOHAS セミナー

主に子育て世代の女性を対象に

- ・ハーブ&アロマで eco 講座
- ・自分のカラダに合わない食べ物がわかる講座
- ・マアルさんのお話会

など、自分や家族の健康的な生活を送るための講座を開催。その生活には地産池消・ゴミ・農薬・化学製品・物を大切にする暮らしがあるということで、最終的に地球環境を考えるという行動に発展するように啓発。



緑のカーテン講習会

夏の冷房の使用を抑制するグリーンカーテンの講習会を開催。



里山資源の見直し

身近な里山の資源を見直す活動として、ウッドガストーブやエコストーブを作成する講座を、広島県省エネ促進活動助成金を利用して開催。



市民版排出量取引事業

市民版排出量取引を実施し、省エネ生活を普及。

省エネクッキングの実施

小学生を対象とした省エネクッキングの実施。

今後の展望など

地球温暖化防止と言う壮大な課題に対して、市民団体としては身近なテーマを題材に本当の豊かな生活とは何かを考えてもらう講座を中心に活動してきました。長年 LOHAS セミナーとして講座を開催してきましたが、令和元年より、「エシカルラボ」（エシカル=人や社会、地球環境、地域に配慮した考え方や行動のことをさす）として講座を開催しています。

活動を長く継続するために、会員が楽しく学べるのが大切と考え、興味のある講座を開催し、エシカル生活の普及を目標に活動していきます。

倉橋の海とくらしを守る会

平成 19 年 6 月 20 日に設立。

豊かな海と温暖な気候に恵まれ、漁業や農業が盛んな広島県最南端の倉橋町において、「海を守ることはくらしを守ること」です。海辺に漂流したごみの清掃等に取り組むなど、海に囲まれた倉橋町ならではの活動を推進しています。

■会員数 個人：34 人、団体数：3 団体

事務局連絡先

◇住所 〒737-1377

呉市倉橋町 431 番地

倉橋市民センター内

◇TEL 0823-53-1111

◇FAX 0823-53-1712

◇メール kurasis@city.kure.lg.jp

活動のあゆみ

- 平成 19 年度 マイバッグ持参運動【～平成 26 年度】
- 花いっぱい運動【～平成 26 年度】
- イベントでの清掃活動【～継続】
(遣唐使船まつり・宝島フェスティバル)
- 海の保全活動【～継続】
- エコクッキング教室【～継続】
- 環境保全事業（EMせっけんづくり）【～継続】
- EM活性液を使った排水路浄化促進事業【～平成 26 年度】
- 平成 22 年度 緑のカーテンコンテスト【～継続】
- 平成 23 年度 先進地視察研修【～継続】
- 平成 26 年度 海辺の教室【～継続】



みなさまへ

ごみのない桂浜からめざす 脱温暖化！

倉橋の海岸には、ペットボトルや発砲スチロールなど人間が捨てたごみでいっぱいです。「できることから、始めよう」を合い言葉に今後もさまざまな活動を展開していきます。



主な活動

海の保全活動

毎月最終日曜日に「桂浜」の海浜清掃を行い、終了後は健康増進を目的に「健康くれ体操」を実施。また、清掃で集めたごみを堆肥化し、野菜や花の植栽に活用。



海辺の教室

倉橋小学校 4 年生を対象に実施。干潟での生き物採集を通じて、生き物の生態や役割を知り、「海を守るために自分たちは何ができるか」「自然環境を維持していくにはどうすれば良いか」を考える。



緑のカーテンコンテスト

地球温暖化防止策の一環として、育てたゴーヤや朝顔によるカーテンコンテストを実施。応募写真はロビーに展示して広く啓発。



環境保全事業（EMせっけんづくり）

家庭や飲食業者から出た廃油を利用して、エコせっけん（EMせっけん）づくりに取り組んでいます。作ったせっけんは地域に持ち帰ってもらい、環境保全の大切さをPR。



イベントでの清掃活動

毎年 7 月に行われる遣唐使船まつりの前に、倉橋小・中学校と合同で桂浜の清掃を行う。浜辺をきれいにすることで、まつりを盛り上げる。



今後の展望など

倉橋町のシンボルであり、万葉集にも詠われた景勝地『桂浜』の清掃活動をはじめ、継続して取り組んでいる様々な活動を今後も実施していきます。

また、時代に合った新たな活動も取り入れ、次世代の子供たちに引き継がれていくよう努めていきます。

脱温暖化プロジェクトせら

平成 20 年 7 月 17 日に設立。

町民や事業者、世羅町などが協働して、脱温暖化のまちづくりに寄与することを目的に、平成 21 年 3 月に「脱温暖化せらのまちづくりプラン」を策定。現在は平成 31 年 3 月に策定した「第 3 次脱温暖化せらのまちづくりプラン」で示した取り組みの実践に力を入れて活動しています。

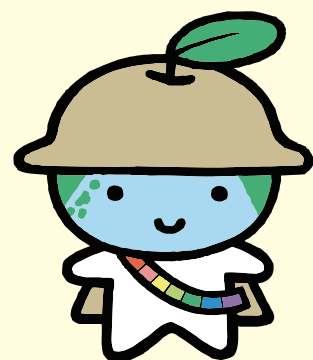
■会員数 個人：24 人、団体数：7 団体

事務局連絡先

◇住所 〒722-1192
世羅郡世羅町大字西上原 123 番地 1
世羅町役場 町民課 環境整備係内
◇TEL 0847-22-4513
◇FAX 0847-22-2768
◇メール kankyo@town.sera.hiroshima.jp

活動のあゆみ

- 平成 21 年度 里山イベント“せらの山へいってみよう”【～継続】
太陽光発電システム設置マップの作成・活用
- 平成 22 年度 「脱温暖化せらのまちづくりフォーラム」の開催【～継続】
フォーラム“生物多様性せら”の開催
ちゃんちゃんこでぽかぽかせら
「相乗りかるた」による啓発
3 R 啓発のぼりによる啓発
- 平成 23 年度 せらの七種物語【～継続】
グリーンカーテン事業【～継続】
- 平成 24 年度 “せら里山楽校”の開催【～継続】
- 平成 25 年度 脱温暖化せらのまちづくり笑コトーク
- 平成 26 年度 エコ自治会組織づくり【～継続】
- 平成 28 年度 公開セミナー【～継続】



マスコットキャラクター
「なし坊」

みなさまへ

ぼくの「帽子」は、梨の「帽子」と地球温暖化「防止」のしるし。世羅高校の駅伝のように、みんなでたすきをつないで、脱温暖化のゴールをめざすよ。地球を守るため、せいっぱいがんばります！

主な活動

脱温暖化せらのまちづくりフォーラム

「脱温暖化せらのまちづくりプラン」の実績を発表し、今後の活動のあり方を確かめ合うために実施しているイベント。講演会など、毎年趣向を凝らしたものとしている。



せらの七種（ななくさ）物語

町内の給食センターから出た生ごみを、世羅高校の協力を得て堆肥化し、カブトムシの養殖や草花の栽培に活かす。また、その取り組みを町内の小中学校で紹介し、脱温暖化について生徒に考えてもらう場を作る。



エコ自治会組織づくり「笑コカフェ」

小さな地域（自治会）単位で、「脱温暖化」についての学習会等を開催。エコや環境に興味・関心を持ってもらい、環境に関するコミュニティ活動が日常的に展開される「エコ自治会」組織をつくる。会場には地域の古民家カフェなどを利用している。



公開セミナー

地域住民の方の身近な問題をテーマに、いろんな分野のプロの方をお迎えして、脱温暖化に関わる自然や環境保全などを学ぶセミナーを開催。



今後の展望など

平成 21 年度からさまざまな活動に取り組んできました。今後も活動を継続させ、町民のみなさんへ脱温暖化について、広く・わかりやすく啓発を行っていきます。

また、世羅町の豊富な森林資源の活用について、イベントの開催や森林整備活動を通じた啓発と、新たなしくみ作りに向け、検討していきます。

くい環境会議

平成 21 年 3 月 6 日に設立。

環境にやさしい三原市久井地域の町づくりをめざし、豊かな自然を次世代に継承することを目的に、四季折々の自然や水辺を楽しむ郷づくりの推進や環境にやさしい生活の実践と促進に取り組んでいます。

■会員数 個人：120 人

事務局連絡先

◇住所 〒722-1304

三原市久井町江木 514-5

米持清 方

◇TEL 090-9411-9141

◇メール yonemochi@m-cn-ne.jp

活動のあゆみ

- 平成 21 年度 エコライフ推進活動【～継続】
環境整備活動（県道沿い河川敷の雑木・竹・ごみの伐採と除去）【～継続】
- 平成 22 年度 ホタルマップづくりに向けたホタル実態調査【～継続】
四季折々の自然を楽しむイベントの開催【～継続】
地元の祭りへの出展【～継続】
- 平成 23 年度 地域環境リーフレットづくり「久井の大地をさぐる」【～継続】
ヒョウモンモドキの保護活動【～継続】
- 平成 24 年度 水辺の生き物採集・展示活動【～継続】
- 平成 25 年度 ビオトープ維持・活用活動【～継続】
小学校での環境学習【～継続】
- 平成 27 年度 ホタル保護活動【～継続】
野鳥の巣箱設置活動
小学校での環境学習【～継続】
- 平成 28 年度 落合橋周辺の環境整備活動【～継続】
- 平成 29 年度 久井さわやか高原祭りにおいて展示・実演
もみ殻くん炭プロジェクトに参加
- 平成 30 年度 久井さわやか高原祭りで「うちエコ診断」実施
エコクッキング講習会【～継続】
- 令和元年度 侵略的外来生物に対する研修会



みなさまへ

地球温暖化は全人類の生存にかかわる大きな問題です。
私たちは、身近な市民レベルで何ができるかともに考えていきたいと考えています。できることから始めましょう。

主な活動

四季折々の自然を楽しむイベント

毎年、中秋の名月のときに「秋の名月を楽しむ会」を開催。

その際には、近隣の音楽家をお招きして演奏を楽しむとともに、なべ帽子を使った調理方法の講習をしている。



「久井！さわやか高原祭り」への出展

秋に開催される祭りでは、自然やエコについての展示と体験活動を取り入れている。久井の水辺にすむ生き物の展示を行うとともに、自然素材の蔓や木の実などを使ったクラフト工作を実施。また、うちエコ診断を行い節電に対する意識を高めている。



里山保全活動

ホタルの生息地保護活動に取り組み、自然についての関心を高めるために地元に基づいたホタル祭りを開催。

絶滅危惧種の蝶であるヒョウモンモドキの生息地保護活動に取り組んでいる。また侵略的外来生物・特定外来生物の駆除活動に協力している。



エコライフの推進

もみ殻くん炭プロジェクトに参加して、もみ殻の有効活用を推進。



今後の展望など

季節にあった各種イベントを通じ、久井の自然を生かしたエコライフのあり方を求め実践していきたい。

町づくりや同様の活動をしている他団体とも協力して地球温暖化問題やエコライフについて共同して活動できることを考えていきたい。

若い方の参加を促し、活動がマンネリ化しないようにするとともに学校や地域団体への出前講座などを提案していきたい。

他団体との協働活動の推進

子育てや野外活動を中心に行う他団体の活動に参画し、次世代を担う子供たちの健全育成の活動に協力。

福山北部脱温暖化地域協議会

平成 21 年 3 月 10 日に設立。
福山市北部地域（新市・駅家・芦田・加茂・広瀬・山野）の地球温暖化防止活動推進員や公衆衛生推進委員、食生活改善推進連絡協議会が主体となって温暖化防止活動を展開。地域ぐるみの省エネ活動を推進することで、各主体が連携した町づくりを目指しています。

■会員数 個人：158 人、団体数：3 団体

事務局連絡先
◇住所 〒720-1147
福山市駅家町向永 50-4
井上勝彦 方
◇TEL 084-976-7898
◇FAX 084-976-7898

活動のあゆみ

- 平成 21 年度 マイバッグ持参運動【～継続】
エコフッキング教室【～継続】
環境家計簿記帳運動【～継続】
近くへの移動は徒歩または自転車を使用する運動
- 平成 22 年度 段ボールコンポストで生ごみ堆肥化運動
河川浄化施設を見学し、家庭排水を考える運動
- 平成 23 年度 緑のカーテン普及活動【～継続】
“ふくきた発” 家庭の省エネ 2 カ年計画
- 平成 24 年度 エコ紙芝居による脱温暖化啓発
- 平成 25 年度 地域学習会【～継続】
- 平成 26 年度 COOL CHOICE 賛同者の募集
- 平成 29 年度 光熱費節約大作戦！



みなさまへ

私たち協議会のメンバーは 3 つの団体に構成されたボランティアの集まりです。活動での呼びかけ、学習会等の事業には進んで参加してもらいたいと思っております。
話は、聞いて得はしても、損をすることは無いと思っております。

主な活動

エコフッキング

平成 21 年から地産地消をテーマとした料理教室から始まり、次に緑のカーテン事業を始めた。ゴーヤが多く収穫できたため、ゴーヤの食べ方に変化が欲しいことからゴーヤの料理教室を開き、レシピの提案を始めた。

この教室を 4 年間続け、多くの提案ができたので、次はエコを考えた教室に変更。これも 2 年間行い、次は地震災害、豪雨災害と災害が続いたので、災害時に対応できる料理をテーマとしての教室を考えた。その時々で求められているテーマに対応しているため、評価が高く次の教室を待ち望む声が多い。



地域学習会

地球温暖化防止を地域の人に幅広く浸透させるため地域ごとに会場を設定し受講者を集め、省エネ学習会を平成 25 年から始め現在に至る。内容は地球温暖化の現状を説明し、省エネ活動の大切さを理解してもらい、まずは自分からの活動を促している。

省エネについては家電を対象にワットアワーメーターを使って省電力の方法の理解を促している。またうちエコ診断を利用した方法も効果が大きいので実施している。



緑のカーテン普及活動

平成 23 年から始まり平成 27 年まで、協議会でゴーヤの苗を無償で配布し事業を行ってきた。

平成 28 年から資金面で難しくなり、苗の手配はするが有料で手配し事業を続けている。



今後の展望など

地域協議会の主体は、温暖化防止活動の展開なので、地球の温暖化についての事業が主体となります。

省エネを基本に考えると、緑のカーテン事業・地域学習会・エコな料理教室の開催で広く地域の人に理解を求めます。

その方法として、大きな影響力を持っているのは、子どもと女性のように思われるので、そこに焦点を集めてはと思います。

海田町地球温暖化対策地域協議会 (通称：かいた緑のネットワーク)

平成 21 年 4 月 16 日に設立。

地域ぐるみで脱温暖化を目指して、①二酸化炭素を出さない、減らす！②地球温暖化にそなえる！ための活動を推し進めています。その重点活動として町内に「緑のカーテン」を 1,000 カ所に設置することを目指しています。

■会員数 個人：20 人

事務局連絡先

◇住所 〒736-0046
広島県安芸郡海田町中店 8-23
保健センター 2 階
◇TEL 082-823-8503
◇FAX 082-823-8503

活動のあゆみ

- 平成 21 年度 環境出前講座【～継続】
緑のカーテンマップづくり【～継続】
- 平成 22 年度 緑のカーテン栽培講習会【～継続】
緑のカーテンフォトコンテスト【～継続】
- 平成 23 年度 ヘデラの管理【～平成 28 年度】
- 平成 24 年度 ゴーヤを使った料理教室【～継続】
- 平成 25 年度 イベントにおいて野菜市を出店【～継続】



みなさまへ

日本人初金メダリストの織田幹雄さんは海田町出身の三段とびのメダリスト。ホップ・ステップ・ジャンプ、脱温暖化の取り組み状況は、まだホップの状態、ステップに向けてジャンプして行きましょう。

主な活動

緑のカーテンマップづくり

町内への緑のカーテン普及活動として設立時から普及状況をマップにしている。設立時の 92 カ所から 830 カ所と 9 倍になった。

緑のカーテンフォトコンテスト

我が家で作った、自慢の「緑のカーテン」の様子を募集し、優秀賞と奨励賞を決定し普及につとめている。



ゴーヤを使った料理教室

毎年 7 月に開催し、豊富なメニューで実施。かいた緑のネットワーク 10 周年には、これまで作った 32 品をまとめた「ゴーヤばかりのレシピ集」800 冊作り、町民に提供した。



環境出前講座

町内の 4 つの小学校で、「未来の地球と私たちの暮らし」についてみんなで考え、行動するための講座を実施。地球温暖化防止コミュニケーター教材 PR 用とオリジナル教材をパワーポイントを使って説明。

地球温暖化に対してどんなことができるのか！として「脱温暖化トライアルシート」1 カ月間の挑戦も行っている。



緑のカーテン栽培講習会

毎年 3 月に海田町総合公園の指定管理者と協同し、座学と実技で緑のカーテンの種類、作り方について講習を実施。



今後の展望など

家庭からの温室効果ガス排出削減として「緑のカーテン」の普及活動を 10 年間推し進めてまいりました。推進員の高齢化、不足等の諸問題はありますが、これまでの活動を踏襲しながら身の丈にあった活動を推進して参りたいと思います。

門田地球温暖化対策協議会

平成 21 年 5 月 1 日に設立。

平成 30 年 5 月には、組織を再編成し、里山と住宅の混成した 600 世帯余の門田町に、門田地球温暖化対策協議会として新たにスタートしました。

温室効果ガス削減と門田川自然復活を共通目標に掲げ、さまざまな活動を展開して、住みよいまちづくりに取り組んでいます。

■会員数 個人：30 人

事務局連絡先

◇住所 〒722-0017

尾道市門田町 20-23

細谷マリコ 方

◇TEL 0848-22-8544

活動のあゆみ

- 平成 9 年度 里山保全事業【～継続】
- 平成 20 年度 緑化事業【～継続】
- 平成 21 年度 マイ箸・マイバッグ運動【～継続】
生ごみ堆肥化普及運動【～継続】
アイドリングストップ運動
地域のエコイベントへの出展・啓発
- 平成 22 年度 門田川エコ散策【～継続】
緑のカーテン普及活動【～継続】
エコ工作講習会
【～継続 平成 28 年よりしめ縄飾り作成】
- 平成 24 年度 エコ料理講習会
【～継続 平成 29 年より野外料理】
- 平成 27 年度 門田川ホタル復活学習会【～継続】
- 平成 29 年度 ゴミ減量運動【～継続】

楽しく
持続可能な
活動を！



みなさまへ

昨今の状況はもう待ったなしの緊迫した状況です。個々の小さな活動も、多くの人が参加することで脱温暖化防止の大きな動力となります。



主な活動

門田川自然復活をめざして

- 町の中心を流れる門田川の自然を復活させようとさまざまな取り組みをしている。
- ・里山保全事業：里山の木材を使つての炭づくり
 - ・河川の保全事業：木炭を地域の川や家庭の排水溝に投入し、アクリルタワシの作成・普及を通して家庭排水の浄化活動を促進。共通テーマはホタルの里復活。一昨年 前からホタルの増加が見られるようになり、ホタル飛翔案内も掲示。
 - ・門田川エコ散策：ホタルの里再生活動の一環として門田川に生息する水生生物を採取し、検査薬を使って川の汚染度合を調べる。また、水の大切さや環境保全について学習している。親子の参加が多く、町の歴史などにも触れながら楽しく散策することを心がけている。



エコ工作講習会

- 身近にある材料を利用してしめ縄作りを行う。資源を最大限に利用することで、無駄のない豊かな生活を提案。
- また、各イベントでアクリルたわしを配布し、毎回アンケートを実施することで地域の人びとの脱温暖化に取り組む意識を喚起する。



生ごみ堆肥化普及運動

- 生ごみの減量と焼却燃料の減少によるCO₂削減をめざす。
- 進化、工夫したコンポストによる生ごみ堆肥づくりを行い、作った堆肥を花壇や緑のカーテンに活用。

野外料理講習会

- 災害時に備えて、電気・ガスを使わない野外料理に挑戦。火おこし、炊飯、豚汁、カレー、デザートづくりなど。

緑のカーテン普及活動

- 毎年 5 月に緑のカーテンへの取り組みを促進する講習会を開催。
- 運動開始から 10 年。地域への定着がみられるので現在は声掛けのみ。

今後の展望など

- これからも具体的で分かり易い活動を継続し、温室効果ガスの削減の目標達成を重点に、地域の人々との連携の輪を広げて行きたい。
- 情報交換の手段として Facebook を開設したい。

脱温暖化笑コきたひろ

平成 22 年 2 月 22 日に設立。

北広島町公衆衛生推進協議会が策定した北広島町脱温暖化 8 カ条を軸に活動しています。

近年は主に北広島町公衆衛生推進協議会の脱温暖化委員会と行政による連携にて活動を実施しています。

■会員数 個人：5 人、団体 2 団体

事務局連絡先

◇住所 〒731-1595
広島県山県郡北広島町有田 1234 番地
北広島町役場 町民課内
◇TEL 050-5812-1854
◇FAX 0826-72-5242
◇メール koueikyou.jimu@gmail.com

活動のあゆみ

- 平成 22 年度 環境家計簿エコライフカード記録運動
脱温暖化出前授業【～継続】
笑コ 8 カ条実践ウォーキングと旬（瞬）を楽しむ会【～継続】
1 万人のエコチェック事業【～継続】
広報誌「公衛協だより」による情報発信【～継続】
- 平成 23 年度 笑コで団らんプロジェクト【～継続】
- 平成 24 年度 1 万人の食チェック事業【～継続】
- 平成 30 年度 ウォーキング事業 / 旬と食ウォーキング【～継続】



みなさまへ

温暖化 8 カ条をテーマに、ウォーキングや脱温暖化出前事業などの啓発事業を中心し、ニコニコ笑って楽しく脱温暖化に取り組んでいます。

主な活動

旬と食ウォーキング

北広島町脱温暖化 8 カ条の「地元で取れる旬を知り食事に取り入れよう」をテーマに開催。北広島町内の名所を会場に設定し、時期に合わせた旬の食事会を同時に行うことで、ウォーキングを通して旬と食を実感してもらい、また地域に愛着を持ってもらう。



脱温暖化出前授業

主に町内の小中学生を対象に実施する。北広島町脱温暖化 8 カ条をテーマに作成したオリジナル紙芝居などを用いて、家庭単位の脱温暖化を啓発する。



自称省エネ一家物語 (北広家のとある日曜日) (秋冬編)



今後の展望など

北広島町脱温暖化 8 カ条のテーマに基づいた活動と啓発を実施していきます。

エコネットたけはら (竹原市地球温暖化対策地域協議会)

平成 23 年 2 月 15 日設立。

市民・事業者・行政などが協力し、地域の特性に即した温室効果ガス排出抑制等の地球温暖化対策の実践活動に積極的に取り組んでいます。

■会員数 個人：15 人、団体数：14 団体

事務局連絡先

◇住所 〒725-8666
竹原市中央五丁目 1 番 35 号
竹原市市民生活部 市民生活課内
◇TEL 0846-22-2279
◇FAX 0846-22-2280
◇メール shimin@city.takehara.lg.jp

活動のあゆみ

- 平成 23 年度 オリジナルパンフレット
「ストップ! 地球温暖化」を作成・配布
出前講座【～H26 年度】
アイドリングストップキャンペーン【～H28 年度】
環境学習会【～H29 年度】
グリーンカーテン普及促進事業【～H30 年度】
- 平成 25 年度 電気・ガス・ガソリン水道使用量見える化キャンペーン
【～H28 年度】
- 平成 29 年度 エコドライブ普及促進事業



みなさまへ

地球温暖化対策の中で一番大きな課題が二酸化炭素の排出量の削減です。その中で私たちができること、クールビズ・ウォームビズによる冷暖房の温度を控えめに設定する、通勤・通学・買い物などの際、自家用車の使用を控えてバス・鉄道・自転車を利用するなど誰にでもできる身近なことから二酸化炭素の排出を減らしましょう。

主な活動

アイドリングストップキャンペーン

竹原港及び市内のスーパー駐車場において、ドライバーにアイドリングストップへの協力を呼びかけた。協力者には、オリジナルグッズ・実践記録表を配布。その後 2 カ月間、アイドリングストップ実践日の記録を依頼し、継続的な実践を促した。



グリーンカーテン普及促進事業

夏場の節電取組としてゴーヤや朝顔などの「グリーンカーテン」を普及させるため、市内の公共施設等に苗や栽培に必要な資材等を支給。市内の幼稚園・保育所・小学校・中学校・高校・地域交流センター・エコネットたけはら加入企業・協力事業所で実施。



電気・ガス・ガソリン・水道使用量見える化キャンペーン

家庭でのエネルギー使用量の上位を占める電気・ガス・ガソリン・水道の 8 月～3 月までの使用量を棒グラフで記録し、使用量の変化を視覚的に確認できるようにすることで省エネを意識づけた。



エコドライブ普及促進事業

会員及び会員の団体に運転の仕方について、エコドライブアンケート調査を実施。



環境学習会

平成 27 年度は、「地球温暖化の現状と省エネのテクニックを学ぼう」をテーマに脱温暖化センターひろしまと広島地方気象台より講師を招き開催。平成 28 年度～29 年度は施設見学を実施。

今後の展望など

今後も活動団体や会員数を増やし、協力してより効果的な地球温暖化防止活動を進めたいと思います。

かんきょう会議 浮城 うきしろ

平成 23 年 3 月 9 日に設立。
平成 20 年 11 月に策定された三原市環境基本計画に基づき地球温暖化対策地域協議会が結成されました。
平成 25 年度ひろしま環境賞、平成 26 年度 RCC エコロジーファンド奨励賞、平成 27 年度地域環境保全功労者環境大臣表彰を受賞しました。

事務局連絡先

◇住所 〒723-0016
三原市宮沖 5-3-6
村上純子 方
◇TEL 070-3968-3564
◇メール ukishiro2014@gmail.com
◇HP・Facebook
「かんきょう会議浮城」で検索

活動のあゆみ

- 平成 21 年度 省エネ学習会 / エコクッキング / 手づくりエプロンシアター / 生ごみリサイクル講演会
河川清掃【～平成 23 年度】
ヒメボタル観察会【～平成 26 年度】・耕作放棄地対策【～継続】
森林整備【～平成 29 年度】・自然観察会【～平成 29 年度】
「やささ祭り」にて、ごみ削減、啓発事業企画運営に参加【～平成 29 年度】
- 平成 22 年度 緑のカーテンづくり講座・ゴーヤ苗配布【～継続】
緑のカーテンコンテスト
生ごみリサイクル講座【～平成 28 年度】・出前講座・省エネ診断【～継続】
- 平成 23 年度 手づくり太陽光パネルワークショップ【～H24】
「3R」「エネルギー」講演会
- 平成 24 年度 竹パウダーで米・野菜づくり講座
- 平成 25 年度 Eco リーダーになろう！（中学・高校生対象）
- 平成 26 年度 廃油石けんづくり講座・エコストーブづくり講座
ミニダンボールコンポスト講座・省エネマイスター養成講座
そばの育て方講座
- 平成 27 年度 休耕田でそばづくり体験【～継続】
「暮らしに生かす薬草のお話」と観察会
人工林観察会と里山整備
- 平成 28 年度 国民運動 COOL CHOICE（賢い選択）推進事業【～継続】
エコクッキング【～継続】
- 平成 29 年度 無肥料栽培セミナー ごみ・リサイクル講座 / 他
- 平成 30 年度 ざわわプロジェクト（サトウキビ栽培の復活）【～継続】
- 令和元年度 光熱費節約大作戦！（省エネ）

みなさまへ

環境問題は思っている以上に深刻です！
『子ども達がのびのび・すくすく育ち、人も自然も生き生きと！』その為に
『Think globally Act locally』『地球的視野で考え、地域（身近）で行動せよ』
私たち一人ひとりのライフスタイルが未来を変えるのです。

主な活動

耕作放棄地対策

市民農園やハーブ畑を作り、平成 27 年度から市民と一緒に有機・無農薬のそば、平成 30 年度から瀬戸内さとうきび栽培「ざわわプロジェクト」を開始。緑のカーテンの PR も継続中。



エコクッキング



環境出前講座



生ごみの堆肥化



グッズの貸し出し

「ソーラークッカー」「エコストーブ」「リユースカップ」「エプロンシアター（台本付き）」「環境紙芝居」「エコかるた」「絵本」などを貸し出している。



省エネ・創エネ

「手づくり太陽光発電パネルワークショップ」、「エコストーブづくり講座」「省エネマイスター養成講座」などを開催し、暮らしに活かす知恵・技術を伝えている。



今後の展望など

「食」を通じて「環境」について考えるきっかけづくりや情報交換出来る場づくりをし、身近なことから環境を守る行動をすることが大切なことを幅広い世代に伝えていきたい。

しのおエコ推進会

平成 24 年 3 月 15 日に設立。

庄原市敷信自治振興区（地域）において永年取り組んでいる活動を礎に、“自らの地域は自らが創る”の理念のもと、住み続けたいと思える住み良い町づくりを目指して、さまざまな活動を展開しています。

■会員数（654世帯）

事務局連絡先

◇住所 〒727-0014
庄原市板橋町 203-6
敷信自治振興センター内
◇TEL 0824-72-0571
◇FAX 0824-72-0571
◇メール
shinou-komin@int.city.shobara.hiroshima.jp

活動のあゆみ

- 平成 17 年度 花回廊の整備【～継続】
- 平成 20 年度 廃油の回収【～継続】
- 平成 21 年度 花いっぱい運動【～継続】
- 平成 24 年度 イベントでの啓蒙活動【～継続】
- 平成 24 年度 グリーンカーテンの実施【～継続】
- 平成 26 年度 ペットボトルキャップの回収【～継続】
- 平成 28 年度 エコチェックの推進（領収書ホルダーを作製・配布）【～継続】



みなさまへ

私たちの取り組みはささいな
ものですが、皆さんの力が集結
すると大きな力になります。
一緒に！

主な活動

花回廊の整備・花いっぱい運動

5 月、7 月、10 月の年 3 回、環境安全部のメンバーによるインターチェンジ前の中央分離帯の除草作業、花の植え替え作業を実施。また、11 の自治会のそれぞれの花回廊においてもスイセンの植え付け、草刈り等を実施。

6 月、11 月に地元の小学 3 年生と毎年拠点施設まわりの花の植え替えを行っている。



イベントでの啓蒙活動

地域の最大イベント会場で、ソーラーフッカーで湯沸しクイズを行ったり、借りたエコグッズを使って子ども達に電気等に頼りすぎない省エネ活動の啓蒙を行ったりしている（領収書ホルダーの製作・配布）。



ペットボトルキャップの回収

「エコ&愛」で始めたキャップの回収も定着し、地域外の人にも広がりを見せている。1 年間のキャップの回収量で CO₂ の削減値のデータを示すことで地域の皆さんに対し、CO₂ の削減の見える化が行えている。



グリーンカーテンの実施

苗の配布、フォトコンテストは今年度（令和元年度）実施しなかったが、カーテン作りは継続中で、かなり定着してきている。



今後の展望など

設立当時の思いが少し薄らぎ、活動もマンネリ化しつつあります。継続事業はさらなる充実と継続を目指し、今後は環境家計簿記帳運動等、地域の多くのみなさんを巻き込める事業を実施していきたいと思っています。

廃油の回収

事務所前にボックスを設置して回収（回収量は年々増加）

脱温暖化福山中央地域協議会

(脱温ふくやま中央)

平成 27 年 2 月 7 日に設立。

福山市公衆衛生推進協議会中央ブロックが中心となり、福山市食生活改善推進連絡協議会・福山環境大学卒業生・地球温暖化防止活動推進員が連携しながら 4 つのチームに分かれてさまざまな活動を展開しています。

事務局連絡先

◇住所 〒720-0824
福山市多治米町 1-19-1
小林哲仁 方
◇TEL 084-953-2973
◇FAX 084-953-2983

< 4 つのチーム >

A チーム：マイバッグ・マイ箸推進プロジェクト・自然エネルギー活用プロジェクト
緑のカーテン運動プロジェクト

B チーム：地産地消推進プロジェクト・エコクッキングプロジェクト

C チーム：廃食油の活用プロジェクト・ごみ減量作戦 3 R 推進

D チーム：環境学習の出前講座プロジェクト・光熱費節約大作戦・うちエコ診断

■会員数 個人：235 人、団体数：2 団体

活動のあゆみ

- 平成 27 年度 マイバッグ・マイ箸推進運動【～継続】
自然エネルギー活用事業
アイドリングストップ運動【～平成 28 年度】
緑のカーテン運動【～継続】
地産地消の推進【～継続】
廃食油の活用【～継続】
環境学習出前講座【～継続】
- 平成 28 年度 エコクッキング【～継続】
- 平成 29 年度 光熱費節約大作戦！【～継続】
- 令和元年度 マイクロプラスチック減量啓発
うちエコ診断



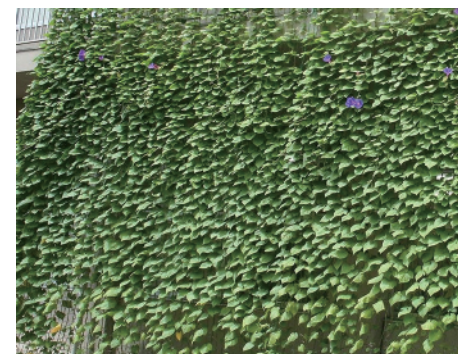
みなさまへ

私たちは、今、文明の恩恵を謳歌していますが、その結果として地球環境を壊していることを再認識し、未来の子どもや孫たちに、このツケを回さないよう出来ることから行動していきましょう！

主な活動

マイバッグ・マイ箸推進運動 緑のカーテン運動

リサイクルセンターで間伐材を活用したマイ箸作りに挑戦。参加者 15 人全員がマイ箸を作り毎日使用中。



廃食油の活用・ごみ減量作戦

公民館で廃油からせっけんを作る。作ったせっけんはお祭りなどのイベントで販売。イベントの開催時にごみ分別指導に当たり、ごみ減量作戦をアピール。



地産地消の推進 ・エコクッキング

グリーンカーテンのゴーヤを使った料理教室を開催。
また、エコクッキングにも取り組む。



環境学習出前講座

市内の小学校や公民館、市民センター等へ出向き、脱温暖化出前講座を開催。子供たちを通して保護者の意識も変容することをねらいに、省エネ実験をたくさん盛り込み、家庭でできる具体的な取り組みを楽しく分かりやすく解説。



今後の展望など

設立して 4 年が経過。思うように事業が進まない現実戸惑いながら、さまざまな事業に挑戦してきました。横の連携をとりながら、学区を越えた活動が展開できたことや、「脱温暖化の町づくりをめざす」という共通目標に向かって、一丸となって活動できたことは大きな成果です。今後はうちエコ診断や光熱費節約大作戦などにも活動を広げていきます。

府中市元町地区地球温暖化対策地域協議会

平成 30 年 7 月 1 日に設立。
府中市初の温暖化対策地域協議会として、
元町自治会加入の世帯に声掛けをし、賛同者
を会員としている。
■会員数 町内会約 600 世帯
団体数 1 団体

事務局連絡先
◇メール fwks1477@mb.infoweb.ne.jp

活動のあゆみ

- 平成 30 年度 温暖化防止対策アンケート
エコ運転 3 原則のタグ作成・配布
- 令和元年度 エアコン設定温度表示ラベルの作成・配布
勉強会「今からできる省エネ生活」
情報紙「もとまち 公衆衛生だより」を発刊
グリーンカーテンコンテスト



みなさまへ

近年の異常気象は地球温暖化
によるものと言われていま
す。
温暖化防止は、ひと昔前の生
活を振りかえって「ぜいたく・
おおちゃく・らく」をしないこ
とです。お互いに頑張りましょ
う！

主な活動

温暖化防止対策アンケート

各家庭でどのような温暖化防止対策が
実行可能かアンケート調査を行った。回
収率は 46%で、「テレビを見ないときは
消す」が一番多かった。次いで、「ごみ
の分別排出」、「マイバッグ持参」、「冷蔵
庫の扉を開けている時間を減らす」で
あった。

エアコン設定温度表示ラベル の作成・配布

エアコンの設定温度を記載したラベル
を作成・配布し、エアコンのリモコンに
貼付してもらった。



情報紙「もとまち 公衆衛生だより」 を発刊

元町での公衆衛生活動や地球温暖化防
止対策や行事報告などを掲載した。

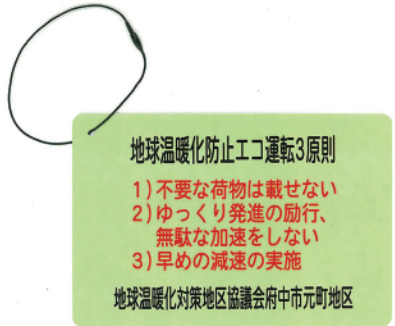
勉強会「今からできる省エネ生活」

講師を招き、「今からできる省エネ生
活」と題した勉強会を開催した。参加者
は 35 人。



エコ運転 3 原則のタグ作成・配布

エコ運転 3 原則を記載したタグを作
成・配布し、自動車に装着するよう依頼
した。



グリーンカーテンコンテスト

4 月にグリーンカーテン用のゴーヤ、
アサガオの種を配布。カーテン作成に参
加した家庭の写真を撮り、優秀作品を表
彰した。



今後の展望など

各家庭でできる温暖化防止対策の運動
は、今後も継続していくために重点活動項
目を決めて、回覧板や掲示板、のぼりなど
で P R 活動を進めていく。
グリーンカーテンは参加者が少ないが、
今後も続けていこうと思う。
風呂敷の包み方教室を子供育成会、女性
会などの団体と一緒に実施したい。

脱温暖化センターひろしま

【広島県地球温暖化防止活動推進センター】

脱温暖化センターひろしま(広島県地球温暖化防止活動推進センター)は、平成11年(1999年)4月8日に施行された「地球温暖化対策の推進に関する法律(以下、『温対法』)」に基づき平成12年(2000年)4月1日、広島県知事から指定を受け、一般財団法人広島県環境保健協会内に設置されました。

脱温暖化センターひろしまの取り組み

●広報・啓発活動

情報紙「環境と健康」およびホームページ、Facebookを通じて情報発信する。
イベントに出展し、温暖化の現状やセンターの取り組みを広く伝えるほか、県内各地で学習会を開催する。

●地球温暖化防止活動推進員、活動団体等の支援

地球温暖化防止活動推進員の養成研修および地球温暖化対策地域協議会関係者等の育成研修を行う。
イベントや学習会等の情報を紹介するほか、地球温暖化対策地域協議会の活動を支援する。

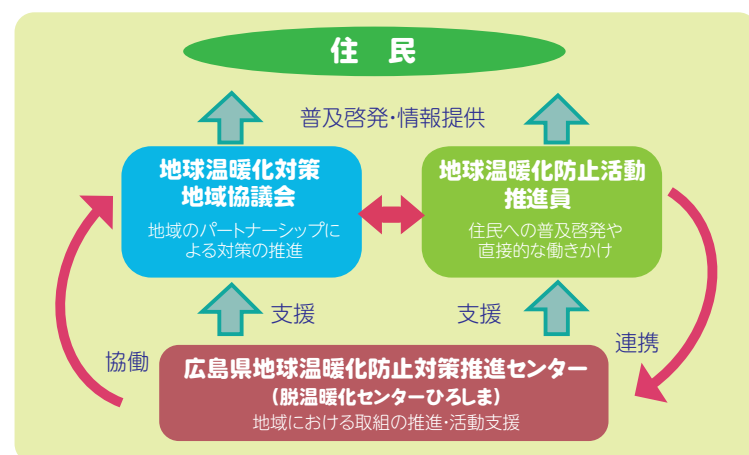
●温室効果ガスの排出抑制等のための照会・相談・助言

パンフレット等の資料提供や教材貸し出し、講師派遣を行う。

●地域の温室効果ガスの排出実態の把握、情報収集・分析、成果の発信

地球温暖化対策地域協議会の協力を得て、エネルギー消費量の調査などを行う。

地球温暖化防止のために実践している具体的な事例を収集して情報紙やホームページ等で紹介し、省エネ取り組みを普及啓発する。



地球温暖化防止活動推進員とは…

地球温暖化防止活動推進員は、『温対法』に基づき、市民などによる地球温暖化防止活動を支援し、助言を行う人たちのことです。
令和元年(2019年)12月末現在、広島県内で246人の推進員が広島県知事の委嘱を受けて、各地で活躍しています。

★地球温暖化防止活動推進員の役割と活動★

- * 自ら地球温暖化防止活動を実践すること
- * 地域住民への普及啓発活動を実施すること
- * 地域住民からの相談に対応すること
- * 地球温暖化対策地域協議会の活動に積極的に参画すること
- * 県や市町が行う施策に協力すること
- * 研修会などへ参加し、資質の向上に努めること
- * 地球温暖化防止活動推進センターの活動に協力、情報提供すること

当センターは、コミュニティを基盤にした“脱温暖化のまちづくり”をテーマに、その活動の核を担う「地球温暖化対策地域協議会」や「地球温暖化防止活動推進員」と連携・協働しながら、脱温暖化の推進体制を築くことをめざしています。



主な貸し出しグッズ

脱温暖化センターひろしまでは、脱温暖化のまちづくり活動の支援の一環として、さまざまな啓発グッズの貸し出しを行っています。地域での啓発活動・学習会等にぜひお役立てください。ただし、数に限りがありますので、貸出期間や数などはあらかじめご相談ください。申し込み・問い合わせは下記へ。

みなさまのご利用をお待ちしています。



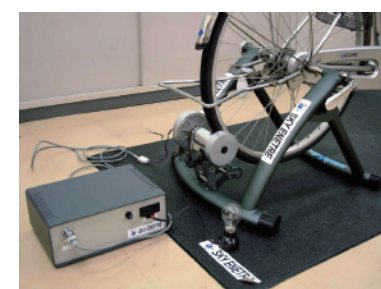
浮き浮き実験器



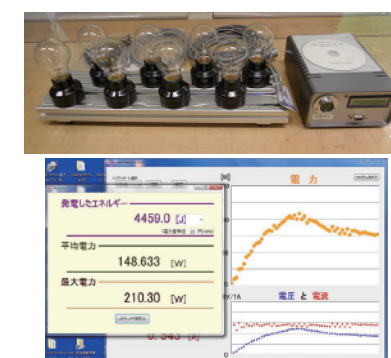
おひさま発電所mini
(太陽光発電パネル)



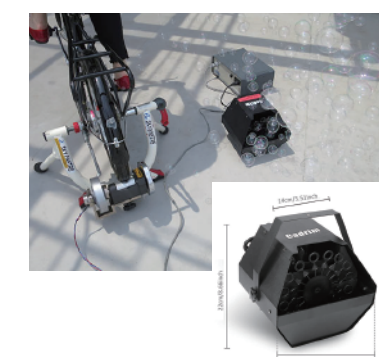
サニークッカー



エネトレ
(自転車発電機)



発電Myチャレンジ



しゃぼん玉製造機



- ・はんでん
- ・たすき
- ・のぼり



- ・広島県の温暖化影響パネル
- ・省エネ家電パネル
- ・誤解の多い省エネ術パネル



紙芝居

このほか、DVD・書籍等の貸し出しも行っています。

問い合わせ・
お申し込みは…

脱温暖化センターひろしま【(一財)広島県環境保健協会】

■〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1
■TEL: 082-293-1512 ■FAX: 082-293-1524
■hccca@kanhokyo.or.jp

地球温暖化対策地域協議会について

1. 地球温暖化対策地域協議会の目的

民生部門からの温室効果ガス排出量の削減が喫緊の課題となっている中、日常生活において住民自らが効果的な取組を進めていくためには、地方公共団体が中心となり、住民や中小事業者の地球温暖化問題に対する意識や知識の高揚を図るとともに、効果的な対策についての情報提供等を行い、更にその取組の支援をしていく体制の整備が必要です。

このため、地方公共団体、都道府県センター、事業者、住民等が連携して対策を協議し、協力して地球温暖化対策に取り組む組織として、地球温暖化対策地域協議会（以下「地域協議会」という。）を組織できることとしました。この地域協議会においては、各地域の事情に応じた効果的な取組や参加メンバーの役割等について協議し、地域密着型の対策を講ずることにより、日常生活における温室効果ガスの削減を図ることを目的としています。

2. 地域協議会の設立について

（根拠条文）
○地球温暖化対策の推進に関する法律（平成 10 年法律第 117 号）
（地球温暖化対策地域協議会）
第 40 条
地方公共団体、都道府県センター、地球温暖化防止活動推進員、事業者、住民その他の地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う者は、日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等に関し必要となるべき措置について協議するため、地球温暖化対策地域協議会（以下「地域協議会」という。）を組織することができる。
2 前項の協議を行うための会議において協議が調った事項については、地域協議会の構成員は、その協議の結果を尊重しなければならない。
3 前二項に定めるもののほか、地域協議会の運営に関し必要な事項は、地域協議会が定める。

(1) 構成員

「地方公共団体、都道府県センター、地球温暖化防止活動推進員、事業者、住民その他の地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う者」（第 1 項）

地域協議会は、日常生活における地球温暖化対策に関わる者によって構成するものとします。例としては、行政主体としての地方公共団体、地域で普及啓発活動等を行う者としての都道府県センター及び地球温暖化防止活動推進員、対策の実施主体としての事業者及び住民を中心とし、その他に、地域の事情に応じて、地球温暖化対策活動を行う N P O 等の参加が考えられます。

なお、構成員の内訳や人数についての要件は法律上明記していませんが、制度の趣旨に鑑みれば、一業種（例：事業者のみ）や少人数での設立は地域協議会としては適当ではなく、また、日常生活での対策が中心であることから、住民（団体を含む。）が参加していることが望まれます。

地域の実情に応じて、下記の例示のような構成員で組織することが想定されます（例：[1]+[2]+[5]、[3]+[4]+[5]、[5]+[6] 等）。

（想定される構成員の例）
[1] 地方公共団体…例：市町村、都道府県
※地方公共団体については、地域密着型のきめ細かな対策を講じるためには市町村レベルでの組織が理想的ですが、地域の事情に応じて都道府県レベルで組織することも考えられます。
[2] 都道府県地球温暖化防止活動推進センター
※地球温暖化対策推進法第 38 条
[3] 地球温暖化防止活動推進員
※地球温暖化対策推進法第 37 条
[4] 事業者…例：対策機器メーカー、地元スーパー、商店街、商工会議所等
[5] 住民…例：住民、自治会、P T A、消費者団体等
[6] その他…例：N P O 等

また、地域協議会は法人格を取得する必要はありません。ただし、補助制度を活用する場合には、当該補助制度の要件によっては、地域協議会の構成員に法人格を有する者が必要となる場合があります。

(2) 活動内容

「日常生活に関する温室効果ガスの排出の抑制等に関し必要となるべき措置について協議するため」（第 1 項）

地域協議会は、日常生活に関する温室効果ガスの削減を目的として設立される必要があります。ただし、この趣旨は、活動の場を一般家庭に限定することではなく、例えば、省エネ機器の製造・普及など、事業者等の対策や住民への普及啓発など行政の対策も含めて、日常生活全般に係る分野が幅広く対象となります。

地域協議会における活動内容は、各地域協議会において決定することとなりますが、例としては、以下のものが考えられます。

- 住民の取組を推進するため必要な支援策の検討
- 一般家庭、商店街等における温室効果ガスの削減効果のある機器等の普及
- 一般家庭、商店街等に導入しやすい対策の情報交換
- 温暖化対策診断やエコドライブ診断の実施
- リサイクル運動等地域ぐるみの取組の企画・推進
- 都道府県センター、地球温暖化防止活動推進員に求められる日常生活に関する活動の検討
- 共同ポスターの作成
- 住民への普及啓発のためのシンポジウム、セミナーの開催

(3) 尊重規定

「前項の協議を行うための会議において協議が調った事項については、地域協議会の構成員は、その協議の結果を尊重しなければならない。」（第 2 項）

地域協議会の構成員は、地域協議会の会議において決定された事項について尊重する義務があります。例えば、事業者、住民等、各主体が地域協議会の決定に基づき自主的取組を行うことや、構成員である地方公共団体が協議会の決定事項を施策に反映することが考えられます。

(4) その他

「地域協議会の運営に関し必要な事項」（第 3 項）

地域協議会の運営に関し必要な事項としては、次の事項が想定されます。地域協議会の円滑な運営のためには、目的、活動内容等を定めた規約を策定することが望まれます。

- ・会の名称
- ・目的
- ・活動内容
- ・組織…役員、役員の選出方法、役員の職務、任期
- ・議決方法
- ・経費
- ・事務局 等

3. 地球温暖化対策地域協議会登録簿

地域協議会の活動を支援するため、環境省に地域協議会の登録簿を設置し、全国の地域協議会の設立状況や活動内容等の情報をインターネットを通じて一般に公表することにより、地域協議会同士の情報交換や住民等への情報提供を推進しています。なお、登録簿への登録は、地域協議会設立要件ではありません。

（出所）環境省 WEB サイト「地球温暖化対策地域協議会について」